

# 変わる舞台を

## プラスにとらえて

ここ半年も経たないうちに、世界は新型コロナウイルス感染症で、まさに一変してしまっただ。日々、SFの世界にはまり込んでような感覚で事態に対峙しながら、次第にそれを逃れようのない現実として理解し、今この状況に、痛みとともに向き合っている。

「Society 5.0」で志向される、スマートシティやデジタルイノベーションのニーズは一気に加速し、それを積極的に受け入れる社会の素地が、このコロナ禍のもと、まさにできあがったともいえる。いろいろな言い訳をし、制限していたテレワークが当たり前になり、行かなければならないと思いついでいた出張が、簡単にウェブ会議に置き換わった。この先、元に戻るといふ選択肢はなく、さらに進み続けるにはどうすればい

いのかを皆が考えている。

また、医療従事者の方々の献身に感謝し、多くの辛さを共有して、社会のために自分は何ができるのか、と考える人が多くなったのではないだろうか。そのことは、「誰一人取り残さない」というSDGsの理念にもつながることである。ハードルの高さも思い知らされながらも、その実現を目指す流れは、現在の経験を通してきつと強くなるものと考ええる。

新しい生活様式が、どれだけこれまでのビジネスにマイナスをもたらし、一方それがバネとなってどこまで変革し発展できるのか。高齢化、人口減少のなかで、グローバルなスピード競争にどう立ち向かえるのか。課題ばかりではあるが、これまで触れたように多くのプラス要素もある。とりわ



Congre社長

武内 紀子

たけうち のりこ

け難しいと言われる日本の状況も、ピンチとチャンスとの裏表のようでもある。そして、私自身、どこかで日本の持つ底堅い力を信じているし、そのことに対して、経済界の果たす役割はとても大きく重要である。

私の会社の規模で、かつマイナーとも言えるMICE・イベントの業種に、経団連の副議長という役割をいただいたのは、私が女性だということとあわせて、経済界の活動にさらなる多様性が求められているからに他ならない。

コミュニケーションの「場」を創造し、人と人とのつながり、相互理解が少しでも進むよう演出することを生業としてきた者として、私なりの視点で、少しでもお役に立てるよう、皆様のご指導、ご支援をいただきながら、全力で取り組んでまいります。